

## 第 10 回総合計画等推進市民委員会

## 事前質問・意見一覧表

事前に送付した会議資料（交付金活用事業の内容及びK P I 等）に対し、以下のとおり質問や意見が寄せられておりますので、回答と併せ、御報告いたします。

## I. 寄せられた質問及び意見の件数（総括表）

交付金活用事業名	質問数	意見数	掲載 ページ
1. はちのへAI（アイ）中心街・バス活性化プロジェクト	3	1	資料1 P3～5 資料2 P1～3
2. いきいきとしたデジタル社会推進事業	0	2	資料1 P6～8 資料2 P4～6
3. 産学官連携による八戸未来創造事業	0	2	資料1 P9～11 資料2 P7～9
4. 蕪島エントランス整備事業	0	0	資料1 P12～13 資料2 P10～12
5. 多賀多目的運動場スタジアム照明整備事業	2	0	資料1 P14～15 資料2 P13～15
6. 市営魚菜小売市場を核とした官民連携による個性あふれる商店街の形成と水産業の振興	1	0	資料1 P16～17 資料2 P16～18
7. 旧柏崎小学校跡地広場（仮称）を新たな観光資源とした中心市街地の賑わい創出と八戸三社大祭の振興・伝承事業	2	0	資料1 P18～19 資料2 P19～21
計	8	5	—

（次ページ以降に具体的な質問や意見の内容を掲載）



## Ⅱ. 具体的な内容

### 1. はちのへAI（アイ）中心街・バス活性化プロジェクト

#### ●質 問

No.	内 容	
1	質問	<p>【掲載箇所】資料1 4 ページ、資料2 2 ページ</p> <p>○「中心市街地駐車場共用化システム」の事業概要について教えていただきたい。</p>
	回答	<p>【担当部署】 まちづくり推進課</p> <p>○ 市内公共施設における利用料のキャッシュレス決済促進を目的として、交通系 ICカード「ハチカ」に「はちのへポイント」を付与するサービスと連動し、「はちのへポイント」の利用方法として、まちなか共通駐車券「おんでカード」に交換するシステムを開発し、交換機を公共施設（八戸市美術館、はっちに設置したものです。（設置は令和5年10月～令和6年3月）</p>

No.	内 容	
2	質問	<p>【掲載箇所】資料1 4 ページ</p> <p>○「キャッシュレス決済使用件数はKPIを大きく上回っており、地域の活性化に伴う地方創生の効果があった」とあるが、キャッシュレス決済使用件数と地方創生ではロジックが弱いのではないか。市の施設の利用者増加や近隣の店舗等への波及効果を実証するようなデータはないのか。</p>
	回答	<p>【担当部署】 政策推進課</p> <p>○ 事業開始当時は、市の施設でキャッシュレス決済を導入している施設は、ブックセンター以外なかったため、キャッシュレス決済普及と利用者の利便性の向上を図るため実施いたしました。これにより、10カ所以上の施設でキャッシュレス決済が導入されました。</p> <p>○ 御指摘の施設利用者数や民間施設への波及効果を実証するデータは、把握しておりません。今後、事業を実施する際には、御指摘の部分を意識したKPIも検討したいと思います。</p>

No.	内 容	
3	質問	<p>【掲載箇所】資料1 4 ページ</p> <p>○ 令和6年3月31日現在では、まちなか共通駐車券交換枚数は100円券が376枚、150円券が74枚ということだが、令和7年3月末ではどの程度利用が広がっているのか。</p>
	回答	<p>【担当部署】 まちづくり推進課</p> <p>○ 当該交換機の設置及び、「はちのへポイント」の「おんでカード」への交換事業は令和6年3月までとなっております。</p> <p>○ 交換機の設置により、キャッシュレス決済促進のほか、おんでカードの普及促進とマイカー利用者の利便を図ることを目的としており、おんでカードの回収額（駐車場で使用された分）実績では、令和4年度10,169,700円⇒令和5年度12,135,900円⇒令和6年度12,354,850円と増加しております。</p>

●意 見

No.	内 容	
1	意見	<p>【掲載箇所】資料1 4 ページ</p> <p>○ 「中心市街地以外の情報やより詳細な個別の店舗、新規出店情報など、サービス拡充を望む声が多い」にも関わらず、「情報発信を求める市民ニーズに応える成果」としているが、情報発信に不満あり、明確に課題だと思う。また、掲載してほしいお店のジャンルは「食事のできるお店」となっているが、ジャンルに絞って検索しにくく、その他のアンケート、更新頻度などを勘案すると運営、情報収集に課題があるのではないか。</p>

2. いきいきとしたデジタル社会推進事業

●質 問

質問無し
------

●意 見

No.	内 容	
1	意見	<p>【掲載箇所】資料1 6 ページ、資料2 7 ページ</p> <p>○ 「地元IT企業の連携を深め、地域のデジタル化を図る事業」について、先導者を発掘する取り組みは参加者数ではなく満足度を中心に評価すべきと考える。</p> <p>○ 一方、事業展開には子どもだけでなく市民に薄くても広く周知を図っていくことも重要だと思う。</p>

No.	内 容	
2	意見	<p>【掲載箇所】資料1 6 ページ</p> <p>○ 八戸市児童科学館のリノベーションについて、更新されることを非常に喜ばしく感じる。是非とも実体験ができる科学館として展開していただきたい。そのためにも、Webページの充実と展示アイテムの更新・修繕のための予算を見込んでおく必要がある。</p>

### 3. 産学官連携による八戸未来創造事業

#### ●質 問

質問無し

#### ●意 見

No.	内 容	
1	意見	<p>【掲載箇所】資料1 9ページ</p> <p>○ 産学官連携には岩手県、岩手大学等が取り組むINS（いわてネットワークシステム）の初期の取組やそこから派生したKNS（関西ネットワークシステム）が参考になると思う。</p>

No.	内 容	
2	意見	<p>【掲載箇所】資料2 9ページ</p> <p>○ 若者の人口流出は、仕事がないではなく、給与面や待遇、夢・希望など企業努力で埋められない側面もあるため、若者の市外転出者数を指標にするのは首を絞めるのではないか。それよりも、県外に行っても愛着を持ってもらえるもの（ふるさと納税等）や、30代40代、シニア世代になったときに帰ってくるUIJターンなどに重きを置いたらどうか。</p>

### 4. 蕪島エントランス整備事業

#### ●質 問

質問無し

#### ●意 見

質問無し

## 5. 多賀多目的運動場スタジアム照明整備事業

### ●質 問

No.	内 容	
1	質問	<p>【掲載箇所】資料1 14 ページ</p> <p>○ 今年J1優勝した鹿島の力とキャプテンかつ県民の柴崎岳選手の存在が大きく、ネームバリューであることは明白であり、成果に鹿島戦をあげて、地域経済の活性化と観るサッカー文化の醸成に一定の効果があつたとするのは強引ではないか。</p> <p>○ 設備整備は必須と認識している反面、Jリーグでのナイター利用は年数試合程度、それ以外のナイターの利活用、それに対する市民のニーズ、意見、維持管理できる計画等はないのか。目的に県内外からより多くの来訪者を呼び込むとあるが、その施策も見えない。今年はチームが好調で平均入場者数は約2,400人程度であるが、これがチームの力に関係なく、スタジアムを訪れる目的をサッカー以外にも持たせられる計画が重要ではないか。例えば、今年の好調な時期と重なるが、7月以前のデーゲームより、ナイターの方が観客数は伸びているため、ナイターの環境に観客は魅力を感じている可能性もあるため、ナイターの設備は有効であると思う。経営難や設備不足で降格・昇格できないなどの事態が起こらないようぜひ検討していただきたい。</p>
	回答	<p>【担当部署】スポーツ振興課</p> <p>○ 評価理由へ記載した鹿島アントラーズ戦は、一例であり、その他のナイトゲームでは、7月6日（土）の松本山雅FC戦では3,031人、9月21日（土）の大宮アルディージャ戦では2,116人の観客動員数を記録しております。2024シーズンの平均観客数では、デーゲーム1,619人に対し、ナイトゲーム2,349人と、ナイトゲームを観戦する方のほうが多くなっており、照明設備を設置したことにより、地域経済の活性化と観るサッカー文化の醸成に一定の効果があつたと評価しております。</p> <p>○ また、Jリーグ以外での照明設備の利用としましては、サッカーの大会や中学校のイベントなど、利用団体からの申請に基づくものや、指定管理者の自主事業として行われているものがありますが、現時点では、さらなる利活用に向けた計画等はありません。</p> <p>○ このほか、県内外からより多くの来訪者を呼び込む施策として、市内小学生をホームゲームに無料招待する八戸市民キッズデーや、選手等から指導を受けられるサッカー教室、並びにその教室に参加した子どもたちと保護者をホーム戦に無料招待するキッズチャレンジデーを実施し、観客動員数の増加に繋げるとともに、プロスポーツを観戦する文化の醸成を図っております。さらに、市やスポーツ団体、民間企業等から成る八戸スポーツコミッションの事業として、ホームゲーム開催時に無料シャトルバスを運行し、県内外から訪れる観客に対して、試合会場へのアクセス利便性の向上を図っております。</p>

No.	内 容	
2	質問	<p>【掲載箇所】資料1 14 ページ</p> <p>○ 照明設備を使用し、市民等に向けた夜間の興行を行うとあるが、Jリーグ以外での使用実績について教えていただきたい。</p>
	回答	<p>【担当部署】スポーツ振興課</p> <p>○ Jリーグ以外での使用実績については以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校のイベント</li> <li>・Jリーグ以外のサッカーの大会</li> <li>・ナイトヨガ教室（指定管理者自主事業）</li> <li>・グランドゴルフ大会（指定管理者自主事業）</li> </ul>

●意見

質問無し
------

6. 市営魚菜小売市場を核とした官民連携による個性あふれる商店街の形成と水産業の振興

●質問

No.	内 容	
1	質問	<p>【掲載箇所】資料1 16 ページ 資料2 17 ページ</p> <p>① KPIの商店街店舗入居率が目標を下回っている原因や対策について教えていただきたい。</p> <p>② 実質的な市負担額はゼロが目標となるのか、それとも一定の行政的な機能があるなどの場合どの程度は必要となるのかの見込みについて教えていただきたい。</p>
	回答	<p>【担当部署】まちづくり推進課</p> <p>① 商業環境の変化や八戸港の水揚げ量の減少、事業者の高齢化による廃業等が主な要因と認識しております。現在魚菜小売市場に隣接した民間市場の再整備中であるため、商店街の店舗の動向について注視してまいります。</p> <p>② 魚菜小売市場は、戦争引揚者等の生活困窮者の救済を目的に開設された経緯があり、八戸港における水揚げ量の増加と高度経済成長を背景に、従来の福祉的市場から消費生活市場へと役割を変えながら、長年「市民の台所」として親しまれてきました。また、昔ながらの風情や「イサバのカッチャ」との対面販売における交流等が観光客から評価され、当市を代表する観光スポットにもなっております。建設から50年以上が経過し、建物の老朽化が著しかったことから、当該事業で令和3～4年にリニューアルを行い、小売り機能の再生、魚食普及による水産業の振興、観光機能の充実を図ったところです。市場には現在、空き区画があり、使用料で管理運営費を賄えるように新たな使用者の募集を行っているところでございます。</p>

●意見

質問無し
------



7. 旧柏崎小学校跡地広場（仮称）を新たな観光資源とした中心市街地の賑わい創出と八戸三社大祭の振興・伝承事業

●質 問

No.	内 容	
1	質問	<p>【掲載箇所】資料1 18 ページ 資料2 20 ページ</p> <p>○ KPIの子ども参加者数の「子ども」の定義を教えてください。社会減対策としては、高校生、高専生、大学生まで広く範囲にいれて地域の良さを感じてもらう機会になるよう働きかけを進めていくべきである。</p>
	回答	<p>【担当部署】 観光課</p> <p>○ 子どもの参加者数については、高校生までを対象にカウントしています。</p> <p>○ 将来においてお祭りだけでなく、地域社会の担い手となる重要な世代に、地域の魅力を実感してもらう機会となるよう、今後幅広く参加を働きかけてまいります。</p>

No.	内 容	
2	質問	<p>【掲載箇所】資料2 20 ページ</p> <p>○ 引っ越しに時間を要し、イベント企画ができず、「施設を活用した本格的なイベント等の実施による効果の発現は、広場供用開始予定の令和10年以降となる見込み」とある中で、このKPIは施設による何の影響・効果があるのか教えてください。</p>
	回答	<p>【担当部署】 観光課</p> <p>○ このKPIは、イベント開催が観光誘客に寄与すると考え設定したもので、当事業は、小学校跡地に山車制作展示施設と公園の機能を備えた広場を一体的に整備するものであり、その一環として、山車制作展示施設が広場に先駆けて完成し、昨年7月31日に供用を開始しました。</p> <p>○ 市が見込む本格的なイベント実施の効果は、広場完成後となりますが、山車制作展示施設単体でも山車を展示することで誘客を図ることが必要と考え、旧山車小屋からの引越し作業に時間を要した昨年度は、イベント開催に至りませんでした。今年度は、施設前の広場工事が進む中、来訪者の駐車スペースの確保に苦慮しながらも、3日間にわたって山車の展示を開催できました。</p> <p>○ 今後においても、山車組と連携し、工夫を重ねながら可能な限り施設を活用したイベントを実施することで、八戸三社大祭の振興と伝承、および観光誘客に努めていきたいと考えています。</p>

●意 見

質問無し
------